

＜平成23年度の主な事業＞

第6次小樽市総合計画の「まちづくり 5つのテーマ」等に基づき本年度実施した主な事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 (括弧内の金額は予算現額)】

A【まちづくり 5つのテーマ】

1. 心豊かに学び、地域文化を育むまち（生涯学習）

- ☆① 特別支援教育業務経費 14,298千円(14,700千円)
 - ・LD（学習障害）やADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症などの障がいのある児童・生徒を支援するため、特別支援教育支援員を平成20年度から配置。配置要望のある学校に対し年次計画で支援員を配置
 - ・平成22年度 小学校10名 → 平成23年度 小学校15名に増員

- ◎② 武道教材教具整備事業費 16,289千円(17,130千円)
 - ・新学習指導要領に基づき平成24年4月から中学校において武道が必修化されることに伴い、各校に柔道用マットを整備

- ☆③ 理科教育等振興設備費（中学校） 7,594千円(7,594千円)
 - ・新学習指導要領に基づき必要となる理科教材を一括整備

- ④ 校舎等の整備 1,021,291千円(1,087,343千円)
 - ◎通学路改修事業費（花園小） 39,620千円(40,000千円)
 - 校門から校舎へ至る通路の幅員拡幅及び歩車道分離
 - ・校舎等大規模改造等事業費ほか（花園小、潮見台小） 347,902千円(370,685千円)
 - （事業費のうち106,595千円は22年度から繰越明許）
 - ・校舎等耐震補強及び大規模改造事業費（長橋中、桜町中） 633,769千円(676,658千円)
 - （事業費のうち595,316千円は22年度から繰越明許）

- ☆⑤ 教育支援活動推進事業費補助金 855千円(855千円)
 - ・平成22年度まで実施していた「小樽市学校支援地域本部事業」と「おたる地域子ども教室」を統合し、全小学校で実施できる体制を構築
 - ・活動日時 土曜日午前中、平日の放課後等（始業前含む）
 - ・活動内容 登下校時の安全指導、学校行事支援、学校環境整備、授業等の学習補助、スポーツや文化芸術の体験活動、本の読み聞かせ 等

- ◎⑥ 新光共同調理場調理等業務委託料 81,995千円(81,995千円)
 - ・学校給食新光共同調理場における調理業務等を民間事業者へ委託（平成20年8月 学校給食オタモイ共同調理場民間委託開始）

- ◎⑦ 新共同調理場土地取得事業費 192,000千円(192,000千円)
 - ・新光・オタモイ両共同調理場を統合し新築する新共同調理場の建設敷地を取得

- ◎⑧ 新共同調理場建設事業費 19,980千円(44,500千円)
 - ・新共同調理場建設に係る基本・実施設計及び地質調査を委託
 - ・平成24年度～平成25年度：建設工事、厨房備品等整備（平成25年8月供用開始予定）

- ☆⑨ 特別展開催経費（美術館） 7,295千円(7,824千円)
 - ・「アンリ・ルソーと素朴な画家たち」
 - ・開催期間：平成23年5月21日～7月10日
 - ※小樽美術館含む全国4美術館で共同巡回展を開催

2. ともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち（市民福祉）

- ☆① 子ども手当経費 1,752,395千円(1,760,458千円)
 - ・次代の社会を担う子どもの成長及び発達に資するため、子どもを養育している方に支給
 - ・平成23年4月～9月
 - 0歳から15歳到達後最初の年度末まで 13,000円/月・人

- ・平成23年10月～平成24年3月（特別措置法）
 - 0歳から3歳未満 15,000円/月・人
 - 3歳から12歳到達後最初の年度末まで 第1・2子 10,000円/月・人
第3子以降 15,000円/月・人
 - 12歳到達後最初の年度末から15歳到達後最初の年度末まで
10,000円/月・人
- ◎② ファミリーサポートセンター事業費 3,161千円(3,572千円)
 - ・育児の援助を受けたい人（依頼会員）と、育児の援助を行いたい人（提供会員）を組織化して、地域の中で子育てをする会員制の援助活動事業をNPO法人に委託して実施
 - ・利用料 30分300円（病児、緊急時 1時間900円）
- ③ 保育所緊急整備事業費補助金 12,878千円(131,417千円)
 - ・施設の老朽改善のため、民間保育所（新光保育園）の改築に要する経費の一部を補助（残額(118,539千円)を24年度に繰越明許）
- ◎④ 認定こども園整備事業費補助金 ー 千円(206,710千円)
 - ・保育需要に対応するため、民間幼稚園（桂岡幼稚園）が保育所を併設した認定こども園を新設するための施設整備に要する経費の一部を補助（全額を24年度に繰越明許）
- ☆⑤ 成年後見制度利用支援事業費 11,940千円(15,180千円)
 - 一般会計1,530千円(2,818千円)、介護保険事業特別会計10,410千円(12,362千円)
 - ・平成22年度より小樽市社会福祉協議会が開設した「小樽・北しりべし成年後見センター」の体制強化のための財政支援拡大と低所得者に対する後見人報酬を助成
- ◎⑥ 高齢者保健福祉計画等策定事業費 451千円(600千円)
 - ・3年ごとに見直しを行う高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について、平成24年～26年を対象年度とする第5期計画を策定
- ⑦ 介護基盤緊急整備特別対策事業交付金 133,137千円(133,173千円)
 - ・平成21～23年度の間、経済危機対策のため、介護基盤の緊急整備として国の交付金を受けた北海道が基金を造成し、地域密着型サービス拠点整備の際の交付金を交付
 - ・地域密着型介護老人福祉施設(小規模特別養護老人ホーム) 1か所(29人)
- ☆⑧ 地域包括支援センター運営経費 79,500千円(84,000千円)
 - ・市内3箇所（東南部、中部、北西部）の地域包括支援センターの3職種（保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー）を増員し、体制を強化
- ☆⑨ 通所型介護予防事業費 2,752千円(3,200千円)
 - ・二次予防事業対象者把握事業で把握された高齢者に対して、スポーツクラブへ委託し、介護予防プログラムを総合的に実施
 - ・定員60名 → ・定員120名へ拡大
- ◎⑩ 新夜間急病センター建設事業費 29,007千円(38,573千円)
 - ・新たな夜間急病センターを建設するため、旧小樽病院看護師宿舎跡地を取得し、地質調査委託を実施（残額(実施設計委託分9,566千円)を24年度に繰越明許）
 - ・平成24年度～平成25年度：実施設計委託、建設敷地内の既存建物の解体、新築工事、医療機器等整備（平成25年7月開設予定）
- ⑪ 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業費 116,161千円(184,488千円)
 - ・法定接種化が検討されている子宮頸がん等ワクチンについて、対象年齢層へ緊急にこれらの予防接種を提供し健康維持を促進
 - ・子宮頸がん予防ワクチン（中学1年生～高校1年生相当の女子）
対象者数 2,548人 接種者数 1,542人
 - ・ヒブワクチン（生後2か月～4才の乳幼児）
対象者数 4,467人 接種者数 1,245人
 - ・小児用肺炎球菌ワクチン（生後2か月～4才の乳幼児）
対象者数 4,467人 接種者数 1,285人

- ⑫ がん検診推進事業関係 69,198千円(80,000千円)
- ・女性特有のがん検診推進事業費 15,340千円(19,000千円)
 - ・特定の年齢に達した女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳及び検診費用が無料となる「がん検診無料クーポン券」を送付し、がん検診の受診を促進
 - ・子宮頸がん検診(20,25,30,35,40歳) 対象者数3,196人 受診者数1,030人
 - ・乳がん検診(40,45,50,55,60歳) 対象者数4,645人 受診者数1,201人
 - ・各種がん検診(健康診査等事業費のうち) 53,858千円(61,000千円)
 - ・職場で検診を受ける機会のない自営業の方、主婦、高齢者などで40歳以上の市民を対象としたがん検診と20歳以上の女性を対象とした子宮がん検診を実施
 - ・検診種別 40歳以上の方 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診(女性のみ)
20歳以上の女性 子宮がん(子宮頸がん)検診
 - ・延べ受診者数 13,945人

- ◎⑬ 働く世代の大腸がん検診推進事業費 6,121千円(19,228千円)
- ・40、45、50、55、60歳を対象に、無料で大腸がん検診を実施
 - ・延べ受診者数 1,034人

- ◎⑭ 病院統合新築工事实設計業務 119,700千円(120,000千円)
- ・小樽病院及び脳・循環器・こころの医療センターの統合新築事業に係る実設計業務委託を実施

3. 安全で快適な住みよいまち(生活基盤)

- ① 配水管整備及び改良工事 892,765千円(879,965千円)
- ・配水管整備工事 362,892千円(411,568千円)
市内一円配水管布設 L=6,277m
 - ・改良工事(老朽施設等更新改良工事ほか) 529,873千円(468,397千円)
豊倉浄水場機械設備更新、配水施設更新ほか

- ② 汚水管整備及び処理場・ポンプ場の更新 962,093千円(1,253,535千円)
- ・汚水管整備 205,705千円(185,000千円)
銭函地区新設、勝納地区更新ほか
 - ・処理場の更新(中央、銭函、蘭島処理場) 600,694千円(825,535千円)
水処理施設更新、機械設備更新ほか
 - ・ポンプ場の更新 155,694千円(243,000千円)
船浜汚水中継ポンプ場 機械設備更新ほか

- ☆③ 臨時市道整備事業費 452,300千円(482,300千円)
- ・市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため、道路改良を実施 397,397千円(397,397千円)
 - ・整備実施 36路線
 - ・(学校再編関連)花園小と潮見台小通学路の歩道設置及び側溝改良等を実施 54,903千円(84,903千円)
(残額(30,000千円)を24年度に繰越明許)

- ④ ロードヒーティング更新事業費 79,132千円(79,163千円)
- ・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新
 - ・千秋通線 407.6m更新(平成22年度179.3m、平成23年度228.3m実施)
 - ・船見線 57.5m更新

- ◎⑤ 曙橋改良事業費 44,079千円(44,079千円)
- ・昭和53年に架設され老朽化が進んだ蘭島1丁目市道曙通線の木橋を架け替え
 - ・測量試験費 4,998千円(4,998千円)
 - ・改良工事費 39,081千円(39,081千円)

- ⑥ 公営住宅建替事業費 259,749千円(302,340千円)
- ・オタモイ地区の老朽化した市営住宅を建て替え、新たに4号棟を建設
 - ・建設工事:オタモイ4号棟 45戸 平成23・24年度
 - ・本体工事費:747,500千円(うち450,500千円を債務負担行為(24年度)設定)

- ⑦ ふるさとまちづくり協働事業推進経費 2,530千円(3,060千円)
- ・市民と協働のまちづくりを進めるため、「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」を活用し、個性豊かなまちづくり活動に取組み、本市の活性化に寄与する団体の事業を支援
 - ・選定事業 12事業
- ⑧ バリアフリー等住宅改造資金関係 15,273千円(30,504千円)
- ・バリアフリー等住宅改造資金貸付金 14,443千円(29,300千円)
 - ・住宅のリフォーム工事や高齢の方や身体に障害のある方のために住宅のバリアフリー等改造工事を行う際に、その工事に要する費用の一部を無利子で融資
 - ・平成21年度まで バリアフリー等改造工事 上限額200万円
無落雪屋根等改造工事 上限額100万円
 - ・平成22年度から バリアフリー等工事 上限額200万円
リフォーム全般(無落雪、耐震補強を含む) 上限額200万円
※平成22年度から3年間、施工業者を市内の事業者に限定
 - ・バリアフリー等住宅改造資金負担金 830千円(1,204千円)
 - ・バリアフリー等住宅改造資金貸付制度に基づく融資の利子補給分
- ☆⑨ 消費生活相談等業務委託料 5,351千円(5,351千円)
- ・小樽市と周辺5町村で締結した定住自立圏形成協定を踏まえ、消費生活相談体制の広域化を実施
 - ・消費生活相談及び多重債務相談の受付時間延長等
- ⑩ 機動力増強・近代化事業費 188,475千円(188,475千円)
- ・災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車(38m級はしご車)を購入
- ◎⑪ 高機能消防指令センター整備事業費 3,360千円(3,360千円)
- ・平成28年度の消防救急無線のデジタル化移行を踏まえ、高機能消防指令センターを整備するため、システム実施設計を委託
 - ・平成24年度：庁舎改修、新指令台設置工事、旧指令台撤去工事等

4. 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち（産業振興）

- ① 忍路漁港整備関連事業関係 8,169千円(9,700千円)
- ・若手漁業後継者の育成が進む本市の忍路漁港地区では、係船用の岸壁が不足しており、また、日本海特有の冬季波浪により、漁船安全係留に支障をきたしていることから、円滑な漁業活動、安全及び快適な漁業就業環境の創出を図るため、新たに本漁港の整備を推進するとともに関連2事業を実施
 - ◎忍路漁港整備道直轄工事費負担金 3,175千円(3,200千円)
 - ・西防波堤・西護岸・物揚場・船揚場の新設等(平成23～26年度)
 - ・平成23年度：測量、調査、設計
 - ※道直轄事業 平成23年度事業費39,685千円(うち市負担8/100=3,175千円)
 - ◎市道忍路湾海岸通線雨水側溝敷設事業費 3,098千円(4,500千円)
 - ・忍路漁港に隣接する市道の側溝が自然の排水溝であり、堆積物等の影響により周辺住宅地への洪水被害の恐れがあるため改良(平成23年度)
 - ・落盤側溝新設 L=58m、柵盤設置 L=25m取替、柵設置 2基、横断暗渠 7m取替
 - ※市事業 平成23年度事業費3,098千円(道補助金1,859千円、市負担1,239千円)
 - ◎忍路区域藻場造成事業費 1,896千円(2,000千円)
 - ・石灰藻の繁殖により、ウニやアワビの餌となるコンブ等の生育に影響を及ぼしていることから、岩盤を覆う石灰藻を除去し、コンブ等の発生しやすい環境へ改善(平成23～24年度)
 - ・平成23年度：石灰藻剥離 3地区 A=450㎡
 - ※市事業 平成23年度事業費1,896千円(道補助金1,138千円、市負担758千円)
- ② 新規高等学校卒業者雇用奨励金 10,000千円(16,000千円)
- ・平成23年3月に高等学校を卒業した者を雇い入れた事業所に対し、6か月以上の雇用を条件に奨励金を交付
 - ・対象事業所
 - ①市内の事業所であって、雇用保険適用事業所であること
 - ②市内に本社・本店がある事業所又は市内に本社・本店は無いが、企業全体の従業員が100人以下の事業所
 - ③期限の定めのない正規職員として雇用すること
 - ④雇用した日の6か月前から奨励金の交付申請までに、事

業所の都合により正規職員を解雇したことがないこと

⑤市税の滞納がないこと

- ・対象となる者 平成23年3月に高等学校を卒業し、交付申請時に市内に住民登録がある者
- ・奨励金交付額 200,000円/人

☆③ 外国人観光客おもてなし推進事業費 8,836千円(9,000千円)

- ・市内3か所の観光案内所に外国語対応の職員をローテーション体制で配置
- ・平成22年度 英語及び中国語対応職員2名配置
- ・平成23年度 韓国語対応職員1名追加配置

☆④ 新規外国語観光パンフレット制作事業費 2,489千円(2,500千円)

- ・海外でのキャンペーンや旅行博覧会での配布など誘致宣伝を目的とした外国語パンフレット(英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語の4種類)を制作

⑤ 中小企業倒産防止共済掛金助成金 2,340千円(3,000千円)

- ・市内中小企業者の連鎖倒産を防止するため、取引先の倒産の際に迅速に貸付けを受けられる「中小企業倒産防止共済」の新規加入を促すことを目的に、当該掛金を助成(平成22年度から)
- ・助成対象 独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する中小企業倒産防止共済に新規に加入する中小企業者で6か月以上掛金を支払った者
- ・助成金額 掛金の1/2の額 月額上限20,000円で6か月分を助成
- ・助成件数 27件

◎⑥ 小樽商科大学創立100周年記念事業費補助金 2,732千円(3,000千円)

- ・平成23年度に小樽商科大学が創立100周年を迎えるに当たり、来樽する卒業生や企業関係者に喜んでもらえるよう、小樽の街全体の歓迎ムードを盛り上げ、地域経済活性化に資することを目的として、市内関係機関で組織される実行委員会に対し事業費を助成

⑦ 東アジア等販路拡大支援事業費 1,608千円(2,850千円)

- ・主として中国向けの新規輸出商材を発掘し、東アジア等への販路拡大を目指す企業を増やすため、輸出関連経費や商談会・展示会出展経費の一部を助成

◎海外(中国)販路拡大補助金

- ・助成金額 商品の通関等に要した費用の3分の2
- ・助成件数 6件

◎東アジア等販路拡大補助金(商談会等)

- ・助成金額 商談会・展示会の出展に要した費用の2分の1
- ・助成件数 12件

⑧ 東アジア圏観光客誘致事業費補助金 6,900千円(6,900千円)

- ・東アジア圏からの外国人観光客の誘致の取組として、ニセコ・倶知安との連携で中国の航空会社や旅行会社を招聘し、航空機内誌への記事掲載と旅行商品の造成を働きかけるほか、東アジア圏観光キャンペーン経費の一部を助成し、中国人観光客の誘致を促進

☆⑨ 小樽ショートフィルムセッション開催補助金 1,300千円(1,300千円)

- ・小樽における撮影の協力体制や優れたロケーションを広く発信するとともに、FC活動の市民周知や啓発、FC活動による地域の活性化を目的としてショートフィルムコンテストを開催
- ・平成21年度 第1回開催
- ・平成23年度 出品作品の増加を図るためワークショップを開催

⑩ 国直轄工事費負担金(北防波堤改良事業費) 25,001千円(45,000千円)

- ・平成21年度まで:調査・設計、漁業補償、根固工(L=300m/港外)、被覆工(L=32m/港外、L=280m/港内)
- ・平成22年度:根固工(L=75m/港外)、被覆工(L=75m/港内)
- ・平成23年度:根固工(L=70m/港外)、被覆工(L=70m/港内)

※国直轄事業 平成23年度全体工事費 160,000千円

⑪ 第3号ふ頭周辺利用高度化事業関係 175,190千円(197,940千円)

- ・現状の荷役作業との協調を図りながら、クルーズ客船対応としての環境

整備や交流空間としての基盤整備を進め、第3号ふ頭周辺地域における利用高度化を推進

- ・合同庁舎周辺整備事業費(22年度から繰越明許) 15,638千円(15,740千円)
 - ・第2ふ頭中央線道路改良L=32.4m
- ・合同庁舎周辺整備事業費 67,439千円(71,200千円)
 - ・第3ふ頭中央線道路改良L=103.5m、第2ふ頭中央線道路改良L=68.9m
- ・第3号ふ頭岸壁改良事業費 73,960千円(91,000千円)
 - ・14番岸壁上部工 L=75.6m、付属工
- ◎旧合同庁舎跡地整備事業費 18,153千円(20,000千円)
 - ・多目的広場として整備 敷地内舗装等 A=5,600㎡

- ⑫ フェリー航路利用促進事業費補助金 11,872千円(15,000千円)
 - ・経済不況などの影響により、利用低迷が続くフェリー航路の維持と活性化を図るため、有人乗用車を対象とした利用促進事業に対して助成
 - ・対象 新潟発→小樽着便の有人乗用車
 - ・期間 平成23年9～12月
 - ・事業内容 1台当たり、買物券(2,000円相当)、小樽物産引換券(1,000円相当)、ソフトドリンク券(600円相当)を配布
 - ・助成対象台数 4,532台

- ☆⑬ 姉妹都市提携委員会交付金 3,370千円(3,370千円)
 - ・青少年少女使節団ダニーデン市派遣事業 平成23年8月4日～11日
 - ・ダニーデン市青少年少女使節団歓迎事業 平成24年2月3日～8日
 - ・市民使節団ソウル特別市江西区訪問事業 平成23年9月23日～26日
 - ・ソウル特別市江西区使節団歓迎事業 平成24年2月2日～5日
 - ・韓国語会話集作成事業

5. 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち(環境保全)

- ① 北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 1,297,146千円(1,297,146千円)
 - ・北しりべし廃棄物処理広域連合(小樽市、積丹町、古平町、余市町、仁木町、赤井川村)によるごみ焼却施設及びリサイクルプラザの運営に要する経費

- ☆② 不法投棄・散乱ごみ監視等業務費(不法投棄等対策経費のうち) 2,580千円(4,270千円)

- ・環境省の「地域グリーンニューディール基金」を活用し、不法投棄等対策として市内20か所で夜間パトロールを実施
- ・実施期間 (平成22年度)6月から11月まで 週5日(水曜日から日曜日まで)の夜間
→(平成23年度)5月から11月まで 毎日の夜間へ拡大

- ◎③ 廃棄物最終処分場埋立計画策定関係経費 5,282千円(5,500千円)
 - 一般会計2,413千円(2,513千円)、産業廃棄物処分事業特別会計2,869千円(2,987千円)
 - ・計画埋立期間の終期が平成27年度である廃棄物最終処分場(桃内)の埋立残余容量の現況測量調査及び埋立可能期間の推計、並びに次期処分場建設に係る適地の確認のための現処分場隣接地の地質調査を委託により実施
 - ・廃棄物最終処分場埋立計画策定経費 2,699千円(2,900千円)
 - 一般会計1,233千円(1,325千円)、産業廃棄物処分事業特別会計1,466千円(1,575千円)
 - ・廃棄物最終処分場用地地質調査経費 2,583千円(2,600千円)
 - 一般会計1,180千円(1,188千円)、産業廃棄物処分事業特別会計1,403千円(1,412千円)

- ④ 使用済家具類のリサイクル推進事業費 4,662千円(5,065千円)
 - ・使用済みの家具類でリサイクル可能なものを収集し、簡単な補修等を加え展示し、希望者へ無償で譲渡

- ⑤ し尿処理施設整備事業費 1,638千円(1,813千円)
 - ・現し尿処理場の老朽化に伴い、中央下水終末処理場でのし尿・浄化槽汚泥の下水との一体化処理を目的とした、受入施設建設に向けての事業認可に必要な経費
 - ・平成22年度 基本調査及び基本設計
 - ・平成23年度 公共下水道事業計画変更認可設計

- ◎⑥ 公園施設長寿命化計画策定調査費 7,928千円(8,000千円)
 - ・老朽化した公園施設の更新やバリアフリー化を計画的に行うための「公園施設長寿命化計画」を策定(平成23～24年度)
 - ・平成23年度:計画準備、現地調査、健全度(危険度)判定
 - ・平成24年度:修繕(改築)計画策定、施設保全計画策定

- ◎⑦ 住吉公園整備事業費 19,400千円(24,000千円)
- ・南小樽周辺地域の子どもの遊び場や市民の憩いの場を確保するため旧商工会館跡地を街区公園として整備

B【その他の施策】

- ① 選挙にかかる経費 95,245千円(114,000千円)
- ・知事及び道議会議員選挙費（平成23年4月10日執行）
35,760千円(37,000千円)
 - ・市長及び市議会議員選挙費（平成23年4月24日執行）
59,485千円(77,000千円)

- ② 自治基本条例検討事業費 288千円(400千円)
- ・自治基本条例制定に向け、「自治基本条例策定委員会」を設置し、素案の検討を行うほか、フォーラム等を開催
 - ・自治基本条例策定委員会 学識経験者、各種団体推薦、市民公募などで構成

- ◎③ 北しりべし定住自立圏地域資源情報発信事業費 3,553千円(3,974千円)
- ・平成22年度に策定した「北しりべし定住自立圏共生ビジョン」に基づき、広域観光の推進など具体的な取組を展開するに当たり、各地域の地域資源情報を収集し、共有を図るとともに、圏域内外に情報発信するための経費

- ④ 移住促進事業経費 1,747千円(1,850千円)
- ・団塊世代などを対象に小樽市への移住を促進するため、ホームページによる住宅情報の提供及び移住希望者への相談業務を実施
 - ・市が交付金を支出する「おたる移住・交流推進事業研究会」では、首都圏で開催されたイベントへ参加するなどPR活動を行うとともに、移住促進に向けた調査研究を実施

- ⑤ 市独自の雇用対策 17,032千円(17,909千円)

- ・厳しい雇用情勢にかんがみ、市独自の雇用対策事業を以下のとおり実施
 - ・旧堺小学校敷地内除草事業費 746千円(750千円)
 - ・墓地雑木伐採事業費(中央・奥沢・長橋・高島) 998千円(1,000千円)
 - ・海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費
2,100千円(2,200千円)
 - ・市内一円砂箱補充事業費 966千円(966千円)
 - ・街路樹剪定等事業費 4,000千円(4,000千円)
 - ・市営住宅施設整備費（繰出金） 1,512千円(2,200千円)
 - ・港湾緑地等環境美化事業費 693千円(700千円)
 - ・小・中学校環境整備事業費 4,935千円(5,000千円)
 - ・屋外体育施設環境整備事業費 1,082千円(1,093千円)

- ⑥ 緊急雇用創出推進事業 100,355千円(104,255千円)
- ・地域の雇用失業情勢が厳しい中で、離職した失業者等の雇用機会を創出するため、国が北海道に対し交付金を交付、道は平成23年度末までの基金を造成し市町村に補助金を交付
 - ・離職を余儀なくされた失業者等の一時的な雇用・就業機会を創出するため、以下の事業を実施
 - ・男女平等参画基本計画策定経費 1,999千円(2,100千円)
 - ・浅海資源保護管理事業費 8,768千円(10,000千円)
 - ・設備投資動向調査事業費 3,295千円(3,500千円)
 - ・観光イベント推進事業費 1,635千円(1,799千円)
 - ・観光情報発信事業費（FMラジオ） 17,074千円(17,140千円)
 - ・観光プロモーション推進員活用事業費 4,190千円(4,830千円)
 - ・市道データ・境界確認申請活用システム整備業務費
9,030千円(9,030千円)
 - ・市内一円草刈等清掃業務費 19,320千円(19,320千円)
 - ・市内一円小河川・側溝清掃業務費 17,577千円(17,577千円)
 - ・都市計画図書等電子化推進経費 8,400千円(8,736千円)
 - ・クルーズ客船誘致促進事業費 921千円(961千円)
 - ・総合博物館収蔵資料データベース活用事業費
6,861千円(6,861千円)
 - ・体育施設等除排雪経費 1,285千円(2,401千円)

⑦ ふるさと雇用再生特別対策推進事業 31,118千円(31,337千円)

- ・緊急雇用創出事業と同様に、国が北海道に対し交付金を交付、道は平成23年度末までの基金を造成し市町村に補助金を交付
- ・地域の創意工夫で、地域の求職者等が継続的に働く場を創出するため、以下の事業を実施
 - ・若年者就職前実践力向上支援事業費 17,468千円(17,687千円)
 - ・地場産品インターネットショップ展開事業費 13,650千円(13,650千円)

⑧ 重点分野雇用創造事業 158,661千円(165,600千円)

- ・緊急雇用創出事業と同様に、国が北海道に対し交付金を交付、道は平成23年度末までの基金を造成し市町村に補助金を交付
- ・介護、医療、農林、環境等成長が期待されている分野における新たな雇用機会を創出するとともに、地域ニーズに応じた人材を育成し雇用に結びつけるため、以下の事業を実施
 - ・津波ハザードマップ作成基礎調査事業費 9,450千円(9,450千円)
 - ・災害時要援護者避難支援プラン整備事業費 3,486千円(3,486千円)
 - ・高齢者情報整理事業費 973千円(1,058千円)
 - ・介護雇用プログラム推進事業費 26,761千円(27,888千円)
 - ・介護保険事業計画ニーズ調査事業費 1,155千円(1,273千円)
 - ・海岸不法投棄監視及び環境保全事業費 16,826千円(17,327千円)
 - ・使用済家具類のリサイクル推進事業費<再掲> 4,662千円(5,065千円)
 - ・若年者就職支援雇用プログラム推進事業費 40,234千円(40,949千円)
 - ・商業者・消費者動向調査事業費 5,565千円(8,354千円)
 - ・地域工芸職人後継者育成及び需要開拓支援事業費 16,970千円(16,970千円)
 - ・外国人観光客おもてなし推進事業費<再掲> 8,836千円(9,000千円)
 - ・観光PR用素材収集事業費 1,544千円(2,000千円)
 - ・「ミュージアム・コミュニケーター」育成・活用事業費 10,649千円(10,663千円)
 - ・鉄道文化遺産の保存推進事業費 11,550千円(12,117千円)

⑨ 地域経済活性化等推進資金基金活用事業 149,200千円(191,825千円)

- ・平成21年度の地方交付税において、新たに「地域雇用創出推進費」が創設され、本市に交付された279,000千円のうち、261,000千円を基金に積み立て、地域の雇用維持・創出及び地域経済の活性化に資する事業に活用することとし、平成23年度は以下の事業を実施
 - ・旧堺小学校敷地内除草事業費<再掲> 746千円(750千円)
 - ・墓地雑木伐採事業費(中央・奥沢・長橋・高島)<再掲> 998千円(1,000千円)
 - ・新規高等学校卒業者雇用奨励金<再掲> 10,000千円(16,000千円)
 - ・農産物ブランド推進事業費補助金 730千円(730千円)
 - ・旭展望台周辺除伐事業費 924千円(950千円)
 - ・「おたる産しゃこ祭」開催事業費補助金 1,000千円(1,000千円)
 - ・地産水産物付加価値向上対策事業費補助金 2,350千円(2,350千円)
 - ・於古登川店舗A・B棟等解体経費 21,798千円(24,000千円)
 - ・中小企業倒産防止共済掛金助成金<再掲> 2,340千円(3,000千円)
 - ・東アジア等販路拡大支援事業費<再掲> 1,608千円(2,850千円)
 - ・『小樽で買物』キャンペーンセール助成事業費 7,164千円(12,000千円)
 - ・観光振興券交付事業費 50,903千円(61,906千円)
(うち基金充当額45,903千円)
 - ・空き店舗対策支援事業費 2,105千円(2,130千円)
 - ・商店街年末年始大売出し支援事業費補助金 3,000千円(3,000千円)
 - ・市場連合会販売促進活動支援事業費補助金 2,000千円(2,000千円)
 - ・中心商店街活性化支援事業費補助金 2,000千円(2,000千円)
(小樽商科大学包括連携協定関係事業)
 - ・観光物産プラザ施設維持補修費 6,119千円(7,500千円)
 - ・小樽商科大学創立100周年記念事業費補助金<再掲> 2,732千円(3,000千円)
 - ・10,000人ウエルカム事業費 3,173千円(13,000千円)
(うち基金充当額1,673千円)
 - ・海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費<再掲> 2,100千円(2,200千円)
 - ・外国人観光客ダイレクトアクセス実証実験事業費補助金 350千円(1,500千円)

・市内一円砂箱補充事業費<再掲>	966千円(966千円)
・街路樹剪定等事業費<再掲>	4,000千円(4,000千円)
・市営住宅施設整備費(繰出金)<再掲>	1,512千円(2,200千円)
・フェリー航路利用促進事業費補助金<再掲>	11,872千円(15,000千円)
・港湾緑地等環境美化事業費<再掲>	693千円(700千円)
・小・中学校環境整備事業費<再掲>	4,935千円(5,000千円)
・屋外体育施設環境整備事業費<再掲>	1,082千円(1,093千円)

〔以下、国の経済対策に係る「きめ細かな交付金」及び「住民生活に光をそそぐ交付金」関連事業で基金充当した事業〕

【金額は基金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

・庁舎施設改修事業費	57千円[5,870千円]
・銭函サービスセンター施設改修事業費	59千円[6,075千円]
・小樽駅前広場「友情の壁」改修事業費	26千円[2,636千円]
・身体障害者福祉センター施設維持補修費	11千円[1,103千円]
・総合福祉センター施設維持補修費	25千円[2,608千円]
・保育所施設改修事業費	113千円[11,546千円]
・墓地施設改修事業費	76千円[7,747千円]
・小樽病院手術室空調等更新事業費・医療センター院内トイレ・病室等補修事業費(繰出金)	98千円[10,032千円]
・保健所施設改修事業費	62千円[6,346千円]
・観光物産プラザ改修事業費	34千円[3,471千円]
・産業会館施設改修事業費	18千円[730千円]
・公設青果卸売市場改修事業費(繰出金)	21千円[2,191千円]
・道路照明(省エネルギー型)改修事業費	38千円[3,896千円]
・公園施設改修事業費	58千円[5,964千円]
・公営住宅用途廃止事業費(繰出金)	93千円[9,545千円]
・クルーズ客船誘致促進環境整備費	28千円[2,910千円]
・港湾施設改修事業費	35千円[3,623千円]
・救急救命機器整備事業費	51千円[5,250千円]
・小学校遊具改修事業費	87千円[8,946千円]
・中学校施設改修事業費	90千円[9,227千円]
・美術館資料整備事業費	(390円)[1,291千円]

◎⑩ 市が実施した東日本大震災に係る主な経済対策

- ・平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により激減した観光客の呼び戻し策として、以下の事業を実施(第1回臨時会・第2回定例会・第3回定例会補正予算)
 - ・観光振興券交付事業費<再掲> 50,903千円(61,906千円)
 - ・10,000人ウエルカム事業費<再掲> 3,173千円(13,000千円)
 - ・観光情報発信事業費(FMラジオ)<再掲> 17,074千円(17,140千円)
 - ・観光プロモーション推進員活用事業費<再掲> 4,190千円(4,830千円)
 - ・東アジア圏観光客誘致事業費補助金<再掲> 6,900千円(6,900千円)
(うち4,800千円を震災経済対策として補正計上)
 - ・国内旅行担当者招聘事業費補助金 700千円(700千円)
 - ・観光プロモーション推進事業費補助金 2,000千円(2,000千円)
 - ・外国人観光客ダイレクトアクセス実証実験事業費補助金<再掲> 350千円(1,500千円)

C【国の経済対策関連事業】

国が行った経済対策としての補正予算等関連事業について、以下のとおり実施

- ① 「きめ細かな交付金・住民生活に光をそそぐ交付金」(平成22年度補正予算)関連
 - ・国の「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」において、地域の目線に立ったきめ細かな事業に活用できるよう、「きめ細かな交付金」及び「住民生活に光をそそぐ交付金」からなる「地域活性化交付金」が平成22年度補正予算で計上され、以下の事業に活用
 - ・「きめ細かな交付金」関連事業 108,634千円
(交付額109,732千円のうち108,634千円を23年度に繰越明許)

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

- ・庁舎施設改修事業費<再掲> 5,813千円[5,870千円]
- ・銭函サービスセンター施設改修事業費<再掲> 6,016千円[6,075千円]
- ・小樽駅前広場「友情の壁」改修事業費<再掲> 2,610千円[2,636千円]

- ・身体障害者福祉センター施設維持補修費<再掲> 1,092千円[1,103千円]
- ・総合福祉センター施設維持補修費<再掲> 2,583千円[2,608千円]
- ・保育所施設改修事業費<再掲> 11,433千円[11,546千円]
- ・墓地施設改修事業費<再掲> 7,672千円[7,747千円]
- ・小樽病院手術室空調等更新事業費・医療センター院内トイレ・病室等補修事業費（繰出金）<再掲> 9,934千円[10,032千円]
- ・保健所施設改修事業費<再掲> 6,284千円[6,346千円]
- ・観光物産プラザ改修事業費<再掲> 3,437千円[3,471千円]
- ・産業会館施設改修事業費<再掲> 712千円[730千円]
- ・公設青果卸売市場改修事業費（繰出金）<再掲> 2,169千円[2,191千円]
- ・道路照明（省エネルギー型）改修事業費<再掲> 3,858千円[3,896千円]
- ・公園施設改修事業費<再掲> 5,906千円[5,964千円]
- ・公営住宅用途廃止事業費（繰出金）<再掲> 9,451千円[9,545千円]
- ・クルーズ客船誘致促進環境整備費<再掲> 2,882千円[2,910千円]
- ・港湾施設改修事業費<再掲> 3,587千円[3,623千円]
- ・救急救命機器整備事業費<再掲> 5,199千円[5,250千円]
- ・小学校遊具改修事業費<再掲> 8,859千円[8,946千円]
- ・中学校施設改修事業費<再掲> 9,137千円[9,227千円]

- ・「住民生活に光をそそぐ交付金」関連事業 25,452千円
（交付額33,437千円のうち25,484千円を23年度に繰越明許）
【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】
- ・図書館図書等資料整備事業費 5,000千円[5,000千円]
- ・図書館環境整備事業費 19,161千円[19,161千円]
- ・美術館資料整備事業費<再掲> 1,291千円[1,291千円]

- ・防災行政デジタル無線整備事業費 一千円(46,567千円)
（全額を24年度に繰越明許）
- ・校舎等増築及び耐震補強等事業費（花園小） 一千円(405,832千円)
（全額を24年度に繰越明許）
- ・校舎耐震補強及び大規模改造事業費（長橋中、桜町中） 一千円(337,263千円)
（全額を24年度に繰越明許）

◎② 「平成23年度第3次補正予算」関連

- ・東日本大震災からの本格的な復興に資するため、復興対策事業費のほか、全国防災対策等に係る地方財政措置が講じられ、以下の事業に活用

【金額は事業費、括弧内()の金額は補正予算額】